

# 米奥小だより

令和6年4月18日(木)

No.2

米奥小学校 校長 北添 忠

## 〇授業が始まりました

4月10日(水)に入学式が行われ、11日(木)からは授業が始まりました。新年度の



スタートは、まず、ひとりひとりが新しい環境に慣れることが大切です。複式授業や給食、縦割り班掃除などメンバーが変わっています。児童にとっては、少し緊張した日々が続いていることと思います。そんな中、仲間づくりにもつながる楽しい取り組みもいくつか行われました。



4月11日(木)、12日(金)には、丸太の鯉のぼりの絵付けを行いました。一人一人が思いのままに丸太に色をつけていきます。四万十川の水面に浮かべたとき、色のはっきり見えるようにと、赤色、黄色、青色、緑色の4色だけで表現します。その限られた色で児童たちは自分の世界を表現していました。猫のようなキャラクターを描く児童、水の中の生き物をたくさん描く児童、幾

何学模様を描く児童。それぞれの表現を興味深く見させてもらいました。児童が絵付けした丸太の鯉のぼりは、学校近くの河原に行くと見ることができます。ぜひ、親子で見に行ってみてください。二つ三つと描いた児童もあり、それらは一斗俵の沈下橋で見ることができます。

4月17日(水)には、イタドリ採りを行いました。児童全員が四万十川を渡って向かいの集落へ行き、小川や田んぼの周辺に自生して



いるイタドリを採取しました。これは昨年に引き続き行われたもので、川村さんが企画してくれました。低学年は道路に面した平たい場所で、高学年は田んぼのそばの斜面などで採取しました。折った時に出る「ポン」という独特の音を楽しみ、また、中にはその場で皮をはいで味見をする児童も。川村さんは「去年は初めてやったけ、子ども

らが緊張しちよったけど、今年は2回目やから、いっぱいしゃべってくれて良かった」と話してくれました。また「イタドリの色の違い（緑と紫）と味の違いが気になって、食べ比べた子が去年おった。本当に味が違うちょった。子どもの感性はすごいね」とも。興味を持って調べる子ども。それがネットではなく自分自身の行動によって。それが普通にできる米奥は素晴らしいと思ったことでした。



## 〇令和6年度の教職員

|           |          |         |          |         |
|-----------|----------|---------|----------|---------|
| 久岡<br>明美  | 広田<br>登生 | 谷口<br>桂 | 長坂<br>敦子 |         |
| 岡上<br>美奈子 | 谷脇<br>直子 | 北添<br>忠 | 下村<br>富彦 | 上野<br>憩 |

